

機械受注は大幅減少ながら底入れの兆しも

Raku
Yomi

楽読(ラクヨミ)

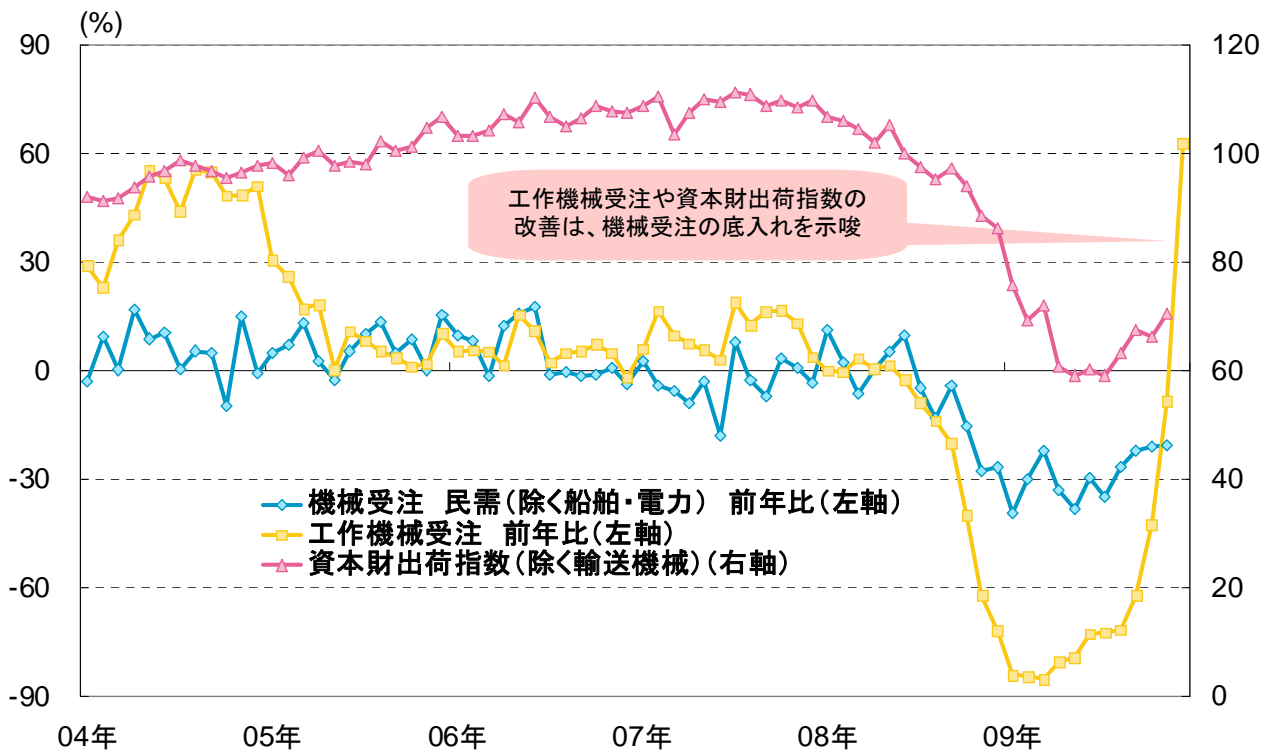
nikko am
fund academy

先週発表された11月の機械受注は、船舶・電力を除く民需が前月比▲11.3%と大幅に減少し、前月比で微増を予想していた市場の期待に反する結果となりました。内訳を見ると、非製造業からの受注が10月(前月比▲17.3%)、11月(同▲10.6%)と2か月連続で大幅に減少している一方で、製造業からの受注については、11月の減少(同▲18.2%)は、10月に大幅に増加した(同+25.4%)後の反動による減少と見られます。また、民需に先行する外需についても、11月の減少(同▲7.3%)は、10月の大幅増(同+15.3%)に対する反動の域にとどまっていると思われます。

したがって、11月の機械受注の大幅減少の主因は、非製造業を中心とする国内需要の低迷であり、先行性のある製造業からの受注や外需においては、引き続き底入れの基調は崩れていないと考えられます。さらに、機械受注に対して先行性があると言われる工作機械受注が、12月に前年比+62.8%と大幅に改善していることや、設備投資の供給側からの指標となる資本財出荷指数(除く輸送機械)が11月も増加基調を続けていることなどから見ても、機械受注は底入れの方向に向かっているものと考えられます。

機械受注の先行きを示唆する工作機械受注と資本財出荷

2004年1月～2009年11月* (*資本財出荷指数の直近値は2009年12月)



※内閣府、経済産業省、日本工作機械工業会のデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。